

【資料3】

2006年2月4日

カンボジア市民フォーラム

カンボジア市民フォーラム人権状況調査報告会

山田 裕史

カンボジアにおける最近の人権状況

1. 概略

1.1 首相または政府に対する名誉毀損の容疑で逮捕された人々

	氏名	役職	逮捕日	保釈日
1	モーム・ソーノンドー (ម៉ែ សុណនីដ៏)	ソムボック・クモム局長 ¹	2005-10-11	2006-01-17
2	ロン・チュン (រ៉ា ឈុន)	独立教員組合代表	2005-10-15	2006-01-17
3	クム・ソカー (កុម សុខា) ²	CCHR ³ 代表	2005-12-31	2006-01-17
4	イエーン・ヴィレアック (យ៉ែន វិរ័យ)	CLEC ⁴ 所長	2005-12-31	2006-01-11
5	パー・グオンティアン (ប៉ែ គុយទីយ៉ា)	CCHR 副代表	2006-01-04	2006-01-17

1.2 首相または政府に対する名誉毀損の容疑で逮捕状が発行されている人々

	氏名	役職
1	チア・モニー (ជា ម៉ុនី)	自由労働者組合代表
2	マエン・ナート (ម៉ែន នារ៉ា)	独立公務員協会代表
3	イア・チャンナー (យ៉ា ចាន់ណា)	民主主義のための学生運動副幹事長
4	シソヴォアット・トミーコー (ស៊ីសុវត្ថិ តូមីកូ)	シハヌーク前国王私設秘書
5	サーイ・ポリー (សារី បូរី)	シハヌーク前国王顧問

1.3 議員特権を剥奪され実刑判決を受けた野党議員

	氏名	罪状	第1審	判決
1	サム・ランシー (សម រ៉ានី)	名誉毀損	プノム・ベン市裁判所	懲役 18 ヶ月
2	チャム・チャンニー (ជាម ច័ន្ទី)	軍隊の不法組織	軍事裁判所	懲役 7 年 ⁵

¹ FM ラジオ局「ソムボック・クモム (សុំបុក គុមូម)」(「蜂の巣」の意)。ソーノンドー局長は2003年1月の対タイ暴動後、暴動を扇動するような放送を行なったとして逮捕された。

² 元仏教自由民主党国民議會議員(1993~1998年)、元 FUNCINPEC 党上院議員(1999~2002年)。上院議員辞任と FUNCINPEC 党からの離党後、米国の支援を得て2002年11月に CCHR を設立し、代表に就任。

³ CCHR: Cambodian Center for Human Rights

⁴ CLEC: Community Legal Education Center

⁵ 2006年2月2日、フン・セン首相はチャム・チャンニー前議員の刑期を7年から3年に短縮する恩赦をノロドム・シハモニー国王に要請した。

【資料 2】

2. 政府批判勢力の封じ込め

2.1 野党サム・ランシー党 (SRP)

- ・2003年国民議会議員選挙での躍進 (15議席→24議席) / プノム・ペンでは第1党に
- ・国民議会内の9委員会からのSRPの排除 (2004年8月)
- ・国民議会、SRP3議員の議員特権を剥奪 (2005年2月) / チアム・チャンニー議員は即日逮捕
→7年の実刑判決 (2005年8月) →3年への減刑の動き (2006年2月) / サム・ランシー党
首は海外へ亡命→18ヵ月の実刑判決 (2005年12月)
- ・憲法改正による国民議会の定足数の削減 (2005年5月)
: 国民議会は2月以降、SRPのボイコットにより定足数 (議員総数の10分の7=87人) に達
せずに本会議を開催できず→人民党 (CPP) とFUNCINPEC党 (FUN) は憲法改正により
定足数を5分の3 (=74人) に削減⁶

2.2 ジャーナリスト、市民社会組織

- ・チア・ヴィッチア (Chh Vieth) カンボジア王国自由労働者組合代表、射殺される (2004年1月)
- ・フン・セン首相、「カンボジア王国とベトナム社会主義共和国の1985年国境画定条約に関する追加条約 (សន្ធិសញ្ញាបំពេញបន្ថែមវិសាលភាពព្រំដែនរវាងព្រះរាជាណាចក្រកម្ពុជា និង សាធារណរដ្ឋសង្គមនិយមវៀតណាម ទៅលើសន្ធិសញ្ញាដែលបាន
ប្រើប្រាស់ពី១៩៨៥)」に調印 (2005年10月10日) / 国民議会、同条約を批准 (同年11月11日)
/ 上院、同条約を批准 (同年11月25日) / ノロドム・シハモニー国王、同条約に署名・公布
(同年11月30日)
- ・FM ラジオ「ソムボック・クモム」のモーム・ソーノンドー局長、フン・セン首相に対する名
誉毀損の容疑で逮捕 (2005年10月11日) →保釈 (2006年1月17日)
- ・カンボジア独立教員組合のロン・チュン代表、フン・セン首相に対する名誉毀損の容疑で逮捕
(10月15日) →保釈 (2006年1月17日)

2.3 人権 NGO

- ・オリンピック・スタジアムで国際人権デー集会 / 63団体が参加 (2005年12月10日)
- ・クム・ソカー-CCHR代表とイェーン・ヴィレアック (imé Vr) CLEC代表、フン・セン首相に
対する名誉毀損の容疑で逮捕 (2005年12月31日) →保釈 (前者は2006年1月17日、後
者は同年1月11日)
- ・パー・グオンティアン CCHR副代表、フン・セン首相に対する名誉毀損の容疑で逮捕 (2006
年1月4日) →保釈 (2006年1月17日)

⁶ 国民議会は定足数が削減された翌日、CPPとFUNの全会一致で上院議員選挙法案を可決した。

【資料2】

3. 関連年表

2005年	
02-03	国民議会、野党3議員の議員特権剥奪を決定。チアム・チャンニー議員、逮捕
08-15	軍事裁判所、チアム・チャンニー議員に実刑7年の有罪判決
09-07	最高裁判所、1997年の「クーデタ」へのフン・セン首相の関与を調査することを拒否
09-27	警察、「民主主義のための学生運動」による反フン・セン首相デモを鎮圧
10-06	フン・セン首相、対越国境画定問題への政府の対応を批判する者を起訴すると表明
10-06	チアム・チャンニー議員、実刑7年の有罪判決に対して控訴しないことを表明→刑の確定
10-10	フン・セン首相、ベトナム政府と「1985年国境画定条約追加条約」に調印
10-11	モーム・ソーノンドー氏、フン・セン首相に対する名誉毀損の容疑で逮捕
10-14	フン・セン首相、ベトナムとの国境画定追加条約調印を批判した4人（ロン・チュン氏、マエン・ナート氏、イア・チャンナー氏、チア・モニー氏）を名誉毀損で起訴
10-15	ロン・チュン氏、フン・セン首相に対する名誉毀損の容疑で逮捕。イア・チャンナー氏とマエン・ナート氏、タイへ向けて出国
10-18	シソヴォアット・トーミコー殿下、対越国境画定問題への政府の対応を批判したため、逮捕を恐れて出国
11-11	国民議会、ベトナムとの国境画定条約追加条約を批准（SRP議員は投票をボイコット）
11-25	上院、国境画定条約追加条約を批准
11-30	シハモニー国王、国境画定条約追加条約に署名。同法公布
12-10	オリンピック・スタジアムで国際人権デー記念集会、10,000人以上が参加
12-22	プノム・ベン市裁判所、フン・セン首相とノロドム・ラナリット国民議会議長に対する名誉毀損の罪でサム・ランシー議員に実刑18ヵ月の有罪判決
12-31	クム・ソカー氏とイエーン・ヴィレアック氏、名誉毀損の容疑で逮捕
2006年	
01-04	パー・グオンティアン氏、名誉毀損の容疑で逮捕
01-11	フン・セン首相、一連の人権活動家の逮捕に関して、すべての関係者にとって受入れ可能な解決策を模索する旨を表明。プノム・ベン市裁判所、イエーン・ヴィレアック氏を保釈
01-12	60以上の国内・国際NGO、一連の人権活動家の逮捕に対する共同声明を発表
01-17	クリストファー・ヒル米 국무省次官補（東アジア太平洋担当）、フン・セン首相と会談。 プノム・ベン市裁判所、クム・ソカー氏、パー・グオンティアン氏、モーム・ソーノンドー氏、ロン・チュン氏の4人を保釈
01-22	現体制下で初の上院議員選挙実施（CPP：45議席、FUN：10議席、SRP：2議席）